

運動部活動顧問の負担軽減 桐蔭横浜大学 澁倉ゼミBチーム

稲澤龍馬 渡邊舞 志村咲季 高橋直也 吉原友哉

発表の流れ

•はじめに



•目的



•研究方法



•結果、考察



•政策提言



まとめ

はじめに

部活動顧問のイメージは？

楽しそう

やりがいがある

感動を生徒と
共有できる

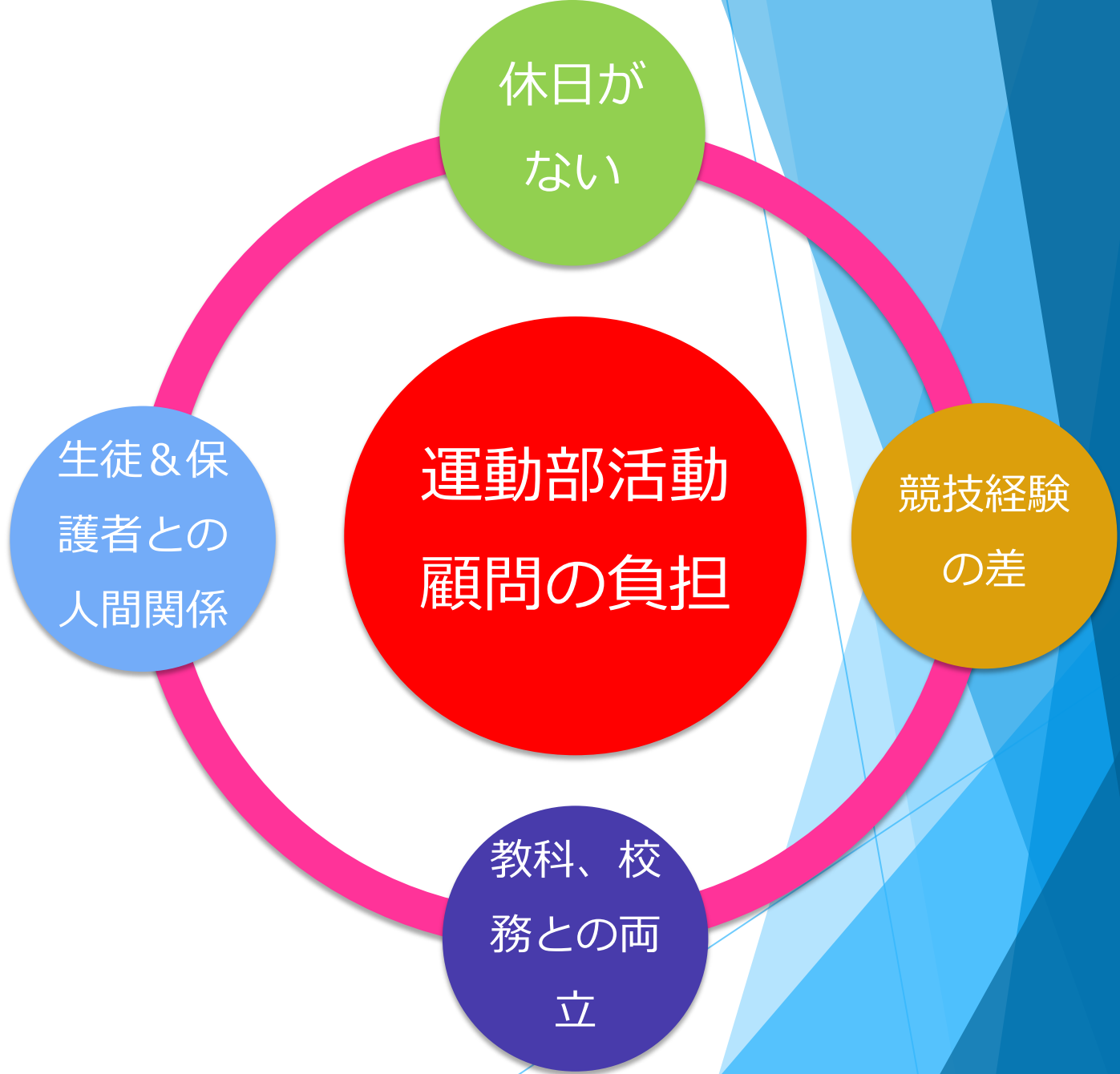
学校の中心
的な先生

尊敬される

はじめに

しかし実際は

運動部活動顧問は
楽しそうで、やり
がいもありそうだ
が・・・



本研究の目的

- 運動部活動顧問の負担の原因を追究する
- 負担を軽減できる政策を考える

研究方法：インタビュー

▶ ①調査対象者

市立運動部活動顧問（1名）

県立運動部活動顧問（1名）

▶ ②調査内容

運動部活動の問題点について

▶ ③調査時期

平成28年8月

▶ ④手続き

現地の活動場所にて2時間程度

研究方法：文献調査

▶ ①調査範囲

中学校・高等学校の運動部活動顧問の実態と問題点

▶ ②調査内容

中学校・高等学校の運動部活動顧問の就任状況と問題点

▶ ③調査時期

平成28年8月～9月

▶ ④手続き

友添秀則（2016）『運動部活動の理論と実践』

インターネット検索エンジンより調査、抜粋（文部科学省
運動部活動のあり方に関する調査研究報告）

古川拓也、舟橋弘晃、横田匡俊、間野義之：中学校運動部活
動顧問教師のストレッサーに関する研究

結果

表1 中学校運動部活動顧問の就任状況（年齢別）

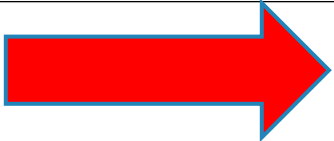
	中学校					
	全体	25歳未満	25～35歳未満	35～45歳未満	45～55歳未満	55歳以上
顧問として指導している	62.1%	75.6%	74.2%	63.7%	37.5%	27.6%
指導していない	37.9	24.4	25.8	36.3	62.5	72.4

表2 高等学校運動部活動顧問の就任状況（年齢別）

	高等学校					
	全体	25歳未満	25～35歳未満	35～45歳未満	45～55歳未満	55歳以上
顧問として指導している	53.4%	54.5%	64.0%	57.5%	45.9%	33.9%
指導していない	46.6	45.5	36.0	42.5	54.1	66.1

忙しい若い世代の教員は

表3 運動部活動の問題点

	中学校			高等学校		
	生徒	保護者	教員	生徒	保護者	教員
特にない 	33.4%	21.5%	4.1%	24.3%	22.6%	6.2%
活動時間が多すぎる	13.0	16.8	20.2	13.8	19.7	25.2
指導者の指導力の不足	8.9	16.1	18.3	13.3	15.0	16.2
活動場所が狭い	14.8	12.2	18.8	11.9	6.8	14.3
生徒同士の間人間関係	11.8	15.0	13.6	11.9	11.4	7.6
指導者の意識の熱意	3.3	3.0	6.6	7.0	4.5	5.8
費用がかかりすぎる	2.2	3.8	1.7	5.7	6.1	6.6

運動部活動顧問の問題点

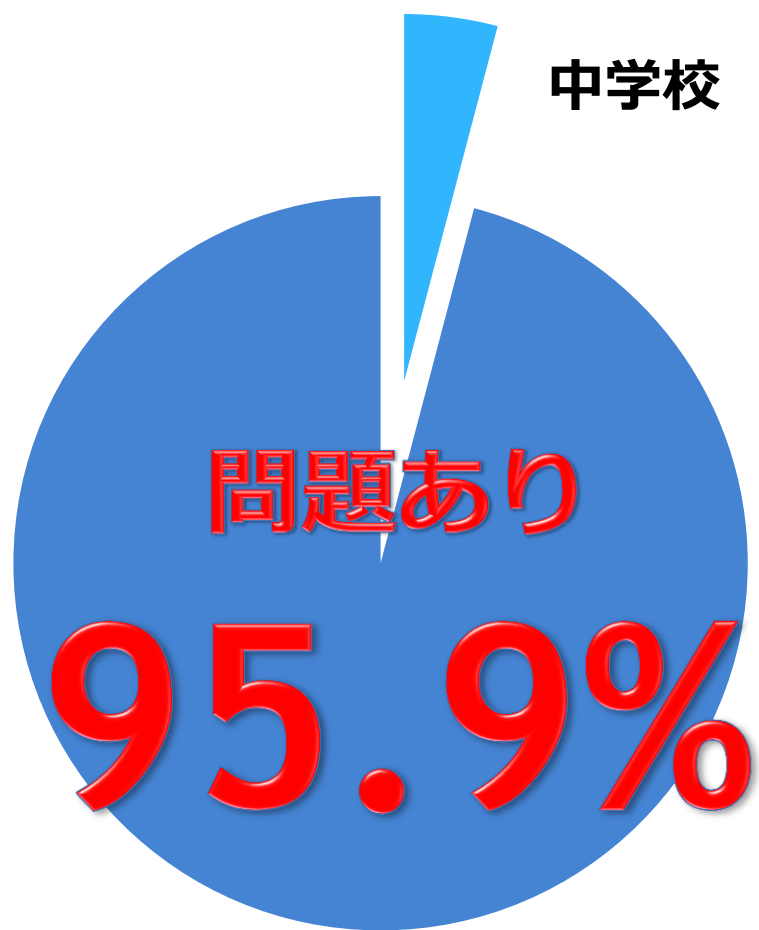


表3 運動部活動の問題点

	中学校			高等学校		
	生徒	保護者	教員	生徒	保護者	教員
特にない	33.4%	21.5%	4.1%	24.3%	22.6%	6.2%
活動時間が多すぎる	13.0	16.8	20.2	13.8	19.7	25.2
指導者の指導力の不足	8.9	16.1	18.3	13.3	15.0	16.2
活動場所が狭い	14.8	12.2	18.8	11.9	6.8	14.3
生徒同士の間人間関係	11.8	15.0	13.6	11.9	11.4	7.6
指導者の意識の熱意	3.3	3.0	6.6	7.0	4.5	5.8
費用がかかりすぎる	2.2	3.8	1.7	5.7	6.1	6.6

結果

運動部活動顧問の問題点

指導者の
指導力不足

費用が掛かり
すぎる

生徒同士の
人間関係

活動場所が
狭い

指導者の意識
の熱意

結果

運動部活動顧問の問題点

活動時間が
長い

結果

運動部活動顧問の問題点

インタビューでは

保護者との関係

指導力不足

プレッシャー

生徒との関係

結果

運動部活動顧問の問題点

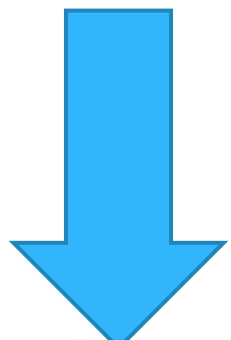
その中でも

一番の負担は
活動時間の長さ

活動時間を減らす



時間の余裕が生まれる



運動部活動顧問の負担軽減

政策 1
部活動シーズン制



アメリカシーズン制

アメリカシーズン制

9月～11月

アメフト
ホッケー
バレーボール
水泳
サッカー
クロスカントリー

12月～3月

バスケットボール
フェンシング
体操
アイスホッケー
射撃
スキー
水泳・飛び込み
室内陸上
レスリング
ボーリング

4月～7月

野球
陸上競技
ゴルフ
ラクロス
テニス
ソフトボール
バレーボール
水泳

これでアメリカは革命
を起こした！

日本版シーズン制



シーズン制の例



4月～9月

- ・野球
- ・ソフトボール
- ・テニス
- ・陸上
- ・水泳
- ・サマースポーツ



10月～3月

- ・サッカー
- ・バスケットボール
- ・ハンドボール
- ・ラグビー
- ・バレーボール
- ・ウィンタースポーツ

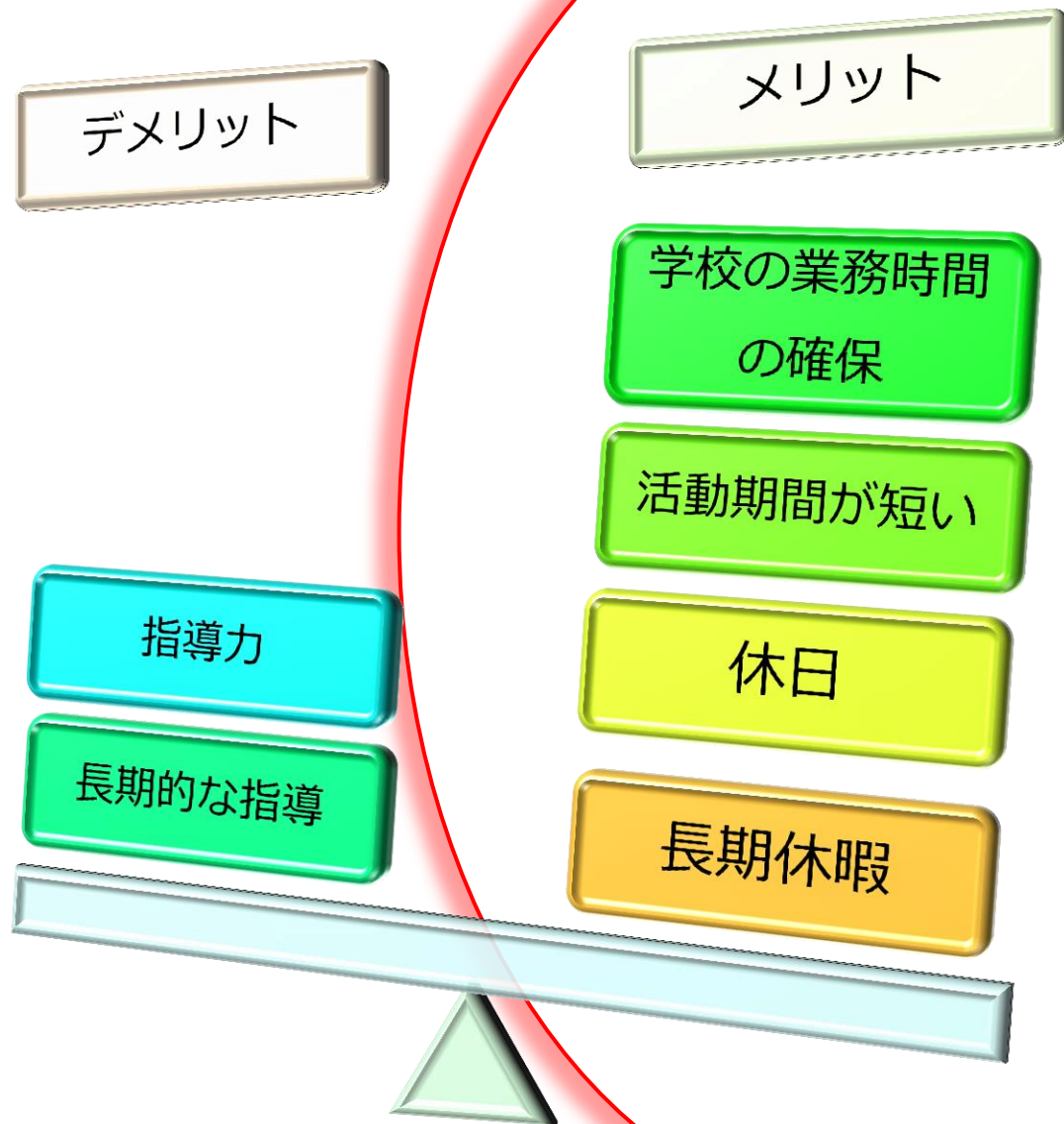


政策提言

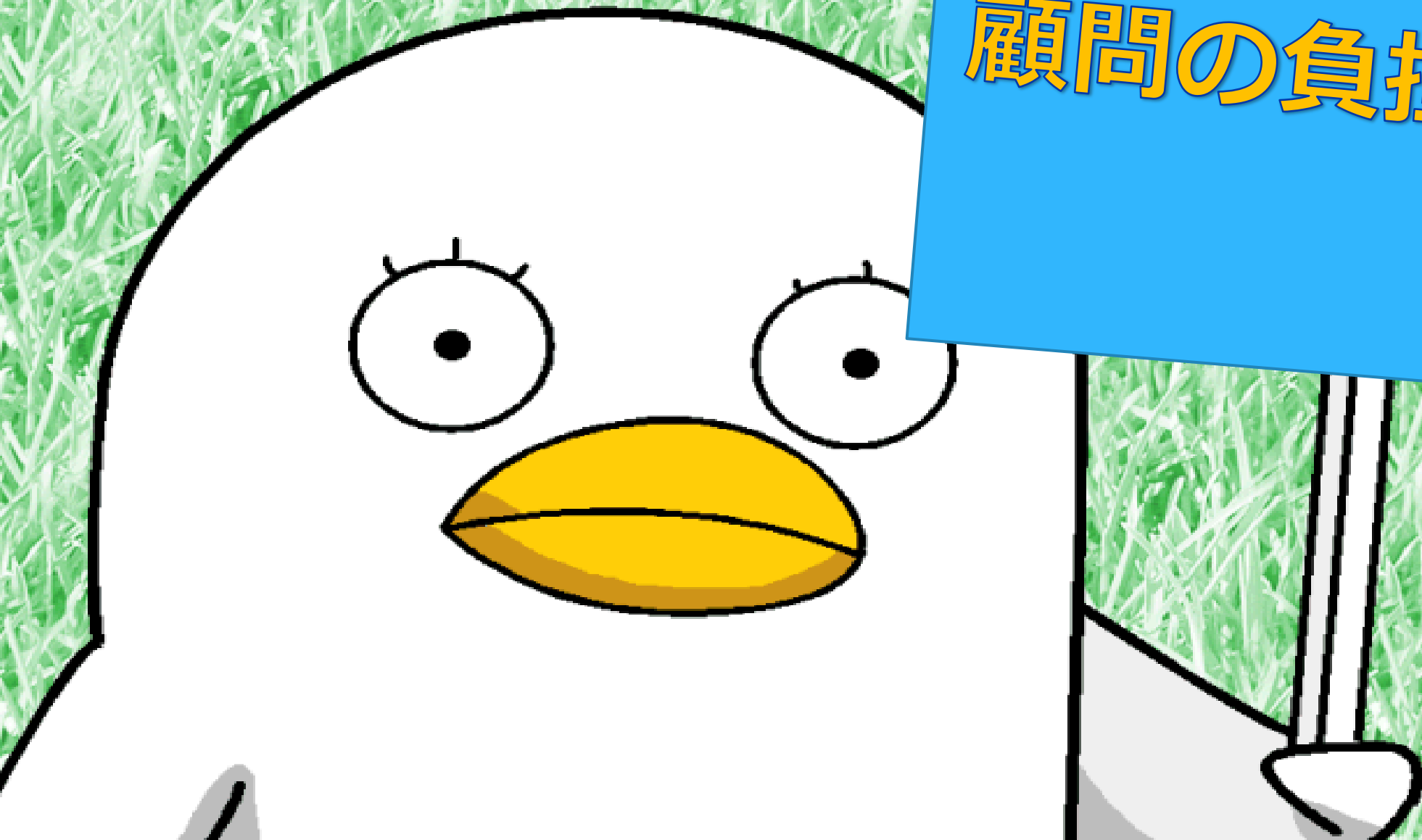
政策内容

顧問のオフシーズンの設定

2シーズン制での 運動部活動顧問の…



顧問の負担が軽減

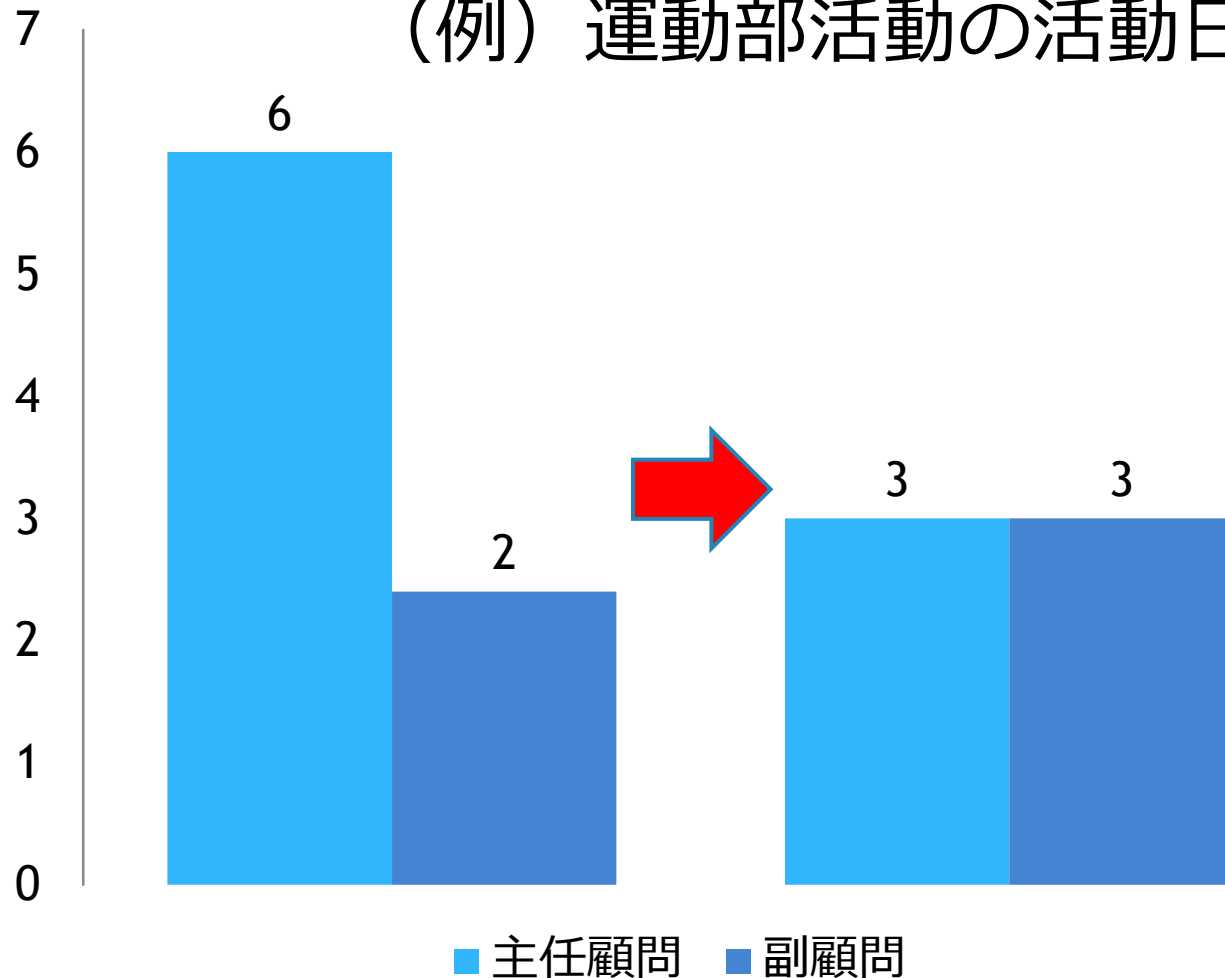


政策 2

主任顧問 & 副顧問シフト制

シフト制とは

(例) 運動部活動の活動日数



活動時間を平等にし
主任顧問の負担を軽減

シフト制の例

	月曜日	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
生徒	×	○	○	○	○	○	○
主顧問	×	○	×	○	×	○	×
副顧問	×	×	○	×	○	×	○

時間の余裕が生まれる

まとめ

これまでのまとめ

**運動部活動顧問には
時間的負担が問題と考えた**

まとめ

- ▶ 運動部活動を2シーズン制にする
- ▶ 主顧問と副顧問のシフト制にする



**運動部活動顧問の負担
が軽減される**

生徒面のメリット

- ・ 多様なスポーツに関わることができる
- ・ さまざまな人と関わることができる
- ・ 運動スキルや基礎体力の向上
- ・ スポーツ障害の予防

教師面

- ・ 指導力不足
- ・ 活動手当て
- ・ 顧問と保護者との価値観の違い

生徒面

- ・ 顧問との価値観の相互理解
- ・ よりよい部活動の環境

参考文献

- ▶ 文部科学省
運動部活動顧問のあり方に関する調査研究報告
（中学校・高校生に関する調査研究協力会議）
 - ・ 友添秀則（2016）
「運動部活動の理論と実践」 大修館書店
 - ・ 中澤篤史
「運動部活動の国際比較」
 - ・ 清水将
「高等学校における運動部活動教育課程上の位置づけに関する検討」
 - ・ 高山千代
「運動部活動指導者の現状と問題（小中高校の比較とまとめ）」



ご清聴ありがとうございました